

紀北で「おやしキャンプ」

来月10、11日 夕食持ち寄り語り合い

子どもが大きくなった父親らが、バーベキューをしながらキャンプを楽しむ「おやしキャンプ」が12月10、11日、紀北町便ノ山のオートキャンプ場「キャンプ・in・海山」で開催される。「子どもと一緒に行けないが、もう一度キャンプを楽しみたい」というおひとりさまの父親向け企画だ。

(根岸敏子)

同キャンプ場は清流・銚子親子連れでにぎわう。毎年川沿いにあり、年間約2年訪れるリピーターも多力8000人が利用する。約8割がファミリー層だ。しかし、子どもが中学や特に夏休みには川遊びを楽しむ。高校に入学すると、キャン

プに来なくなる家族もいる。「キャンプに行きたいが、子どもは部活や勉強で忙しい。妻は付き合ってくれない。1人では行きづらい」という父親の要望に応え、「ソロキャンプ」と名付けて今年3月、男性の1人客を対象にした「おやしキャンプ」を初めて開催した。愛知県や大阪府などが



「おやし手形」を手に参加を呼びかける由上さん

ら、20、50歳の男性6人が参加。バーベキューをしながら1泊2日のキャンプを楽しむ。厚手鍋の夕食、午後4時から木立の中にテントを張る林間サイトなど、自慢のアウトドア料理を振る舞う男性もいて、盛り上がったという。今回は10日午前10時チェックイン開始。午後1時集合。午後4時から木立の中にテントを張る林間サイトなど、食事会「おやし集会」が開かれる。

夕食は持ち寄り形式で、調理器具を持参し、その場で調理することも可能。キャンプ場では紀北町特産の渡利カキを焼きガキ用に用意する。参加費は、寝泊まりするテント持参で3000円。コテージに泊まるなら6000円。自由時間には各自でカヌーや散策などを楽しむ。翌日午後4時までにチェックアウトする。参加者にはビノキ製の「おやし手形」をプレゼントする。ニッケネームを焼き込んでくれ、キャンプに参加するごとにスタンプを押してくれる。

キャンプ・in・海山の由上さん(50)は「キャンプ好きの人はもちろん、これからキャンプを始めたい人も大歓迎。年齢も問わない。だるまストロブやき火を囲んで語り合いましょう」と話す。申し込みは12月9日まで。問い合わせは同キャンプ場(0597・33・0077)へ。

読者新聞

2016. 11. 26